

人間の都市

第2章 市民の都市

6/4 第2回菊竹勉強会 10:30～12:00

担当：早稲田大学古谷研究室 吉岡憲吾、西那巳子、輪嶋優一

- | | | |
|---|--------------------|-----|
| 1 | 都市生活と環境公害—スミラーな環境 | 62 |
| 2 | 自由な市民生活のための都市—景観規制 | 84 |
| 3 | 新宿副都心計画のしめすもの—公共骨格 | 101 |

1 都市生活と環境公害－スミラーな環境

早稲田大学学部 4 年 吉岡 憲吾

都市生活はどうなるか

＜都市生活＞

→都市空間の環境と、都市生活との関係

要素として、生活、機能、空間を取り出し、要素間の関係から考える。

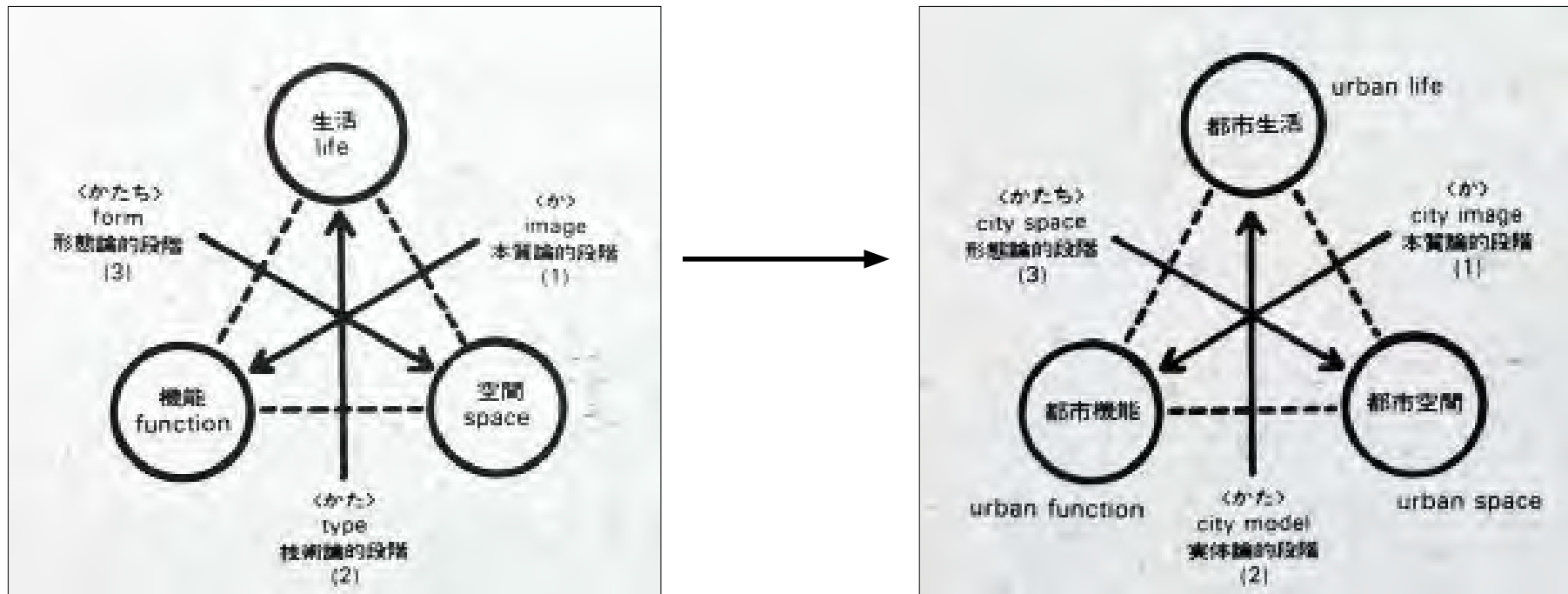


fig.1

将来の都市は・・・

- 1, 空間の絶対的不足
- 2, 公害
- 3, 災害 (火災・地震・水害・地盤沈下・崖崩れなど)



住宅地域に集中的に現れる



都市のスラミー現象

都市のスラミー現象は環境奴隷の市民を作り出している。



非人間都市の環境を強化することにつながってしまう



ネットワークの開発を始めることが必要

環境に関わる認識の基本的問題

1. マルチ・チャンネル・エンバイロメント
2. トータル・エンバイロメント
3. ソフト・エンバイロメント

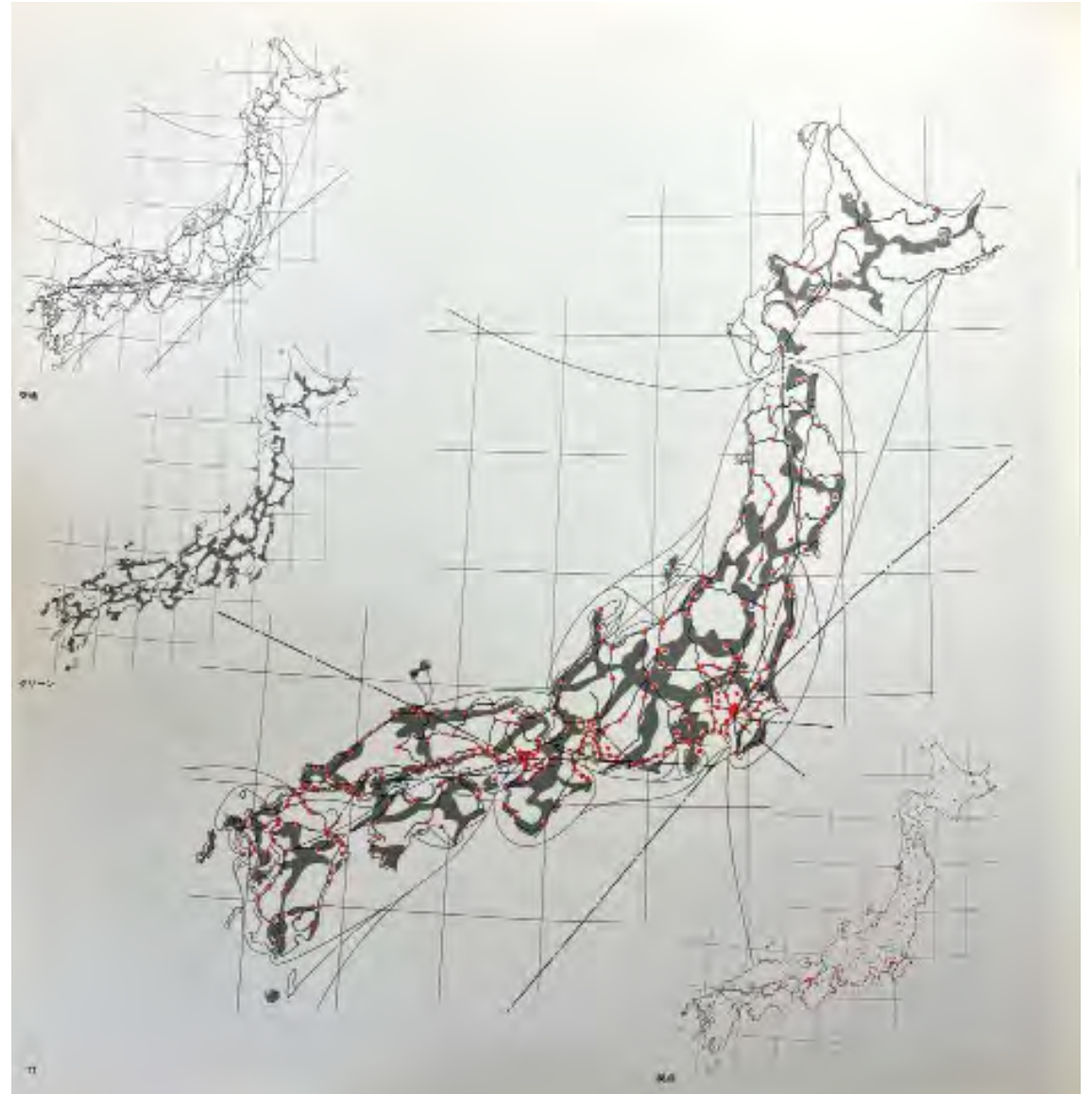


fig.2

デザインにより救済できるか

デザイン

1, 技術を媒介してあらゆるものを人間化しようとするムーブメントを持つ。

2, 情報に関する分野の概念

情報交換の方法、アプローチ、論理

トータルシステム、プロセスプランニング、フィードバック・メカニズム



デザインは共通のイメージを与えることができる

公害の猛威

《ペアシティ 1965》

空間環境のあるべき姿を方向づけができていない

→混乱

・ 情報社会において環境に対して強くなる傾向として以下がある。

- 1, 耐用年限のサイクルと、取替えのシステム
- 2, 移動・交換のシステム
- 3, 自律のシステム
- 4, 蓄積のシステム
- 5, 複合化による機能の多用多元化を制御するシステム

↓
超建築

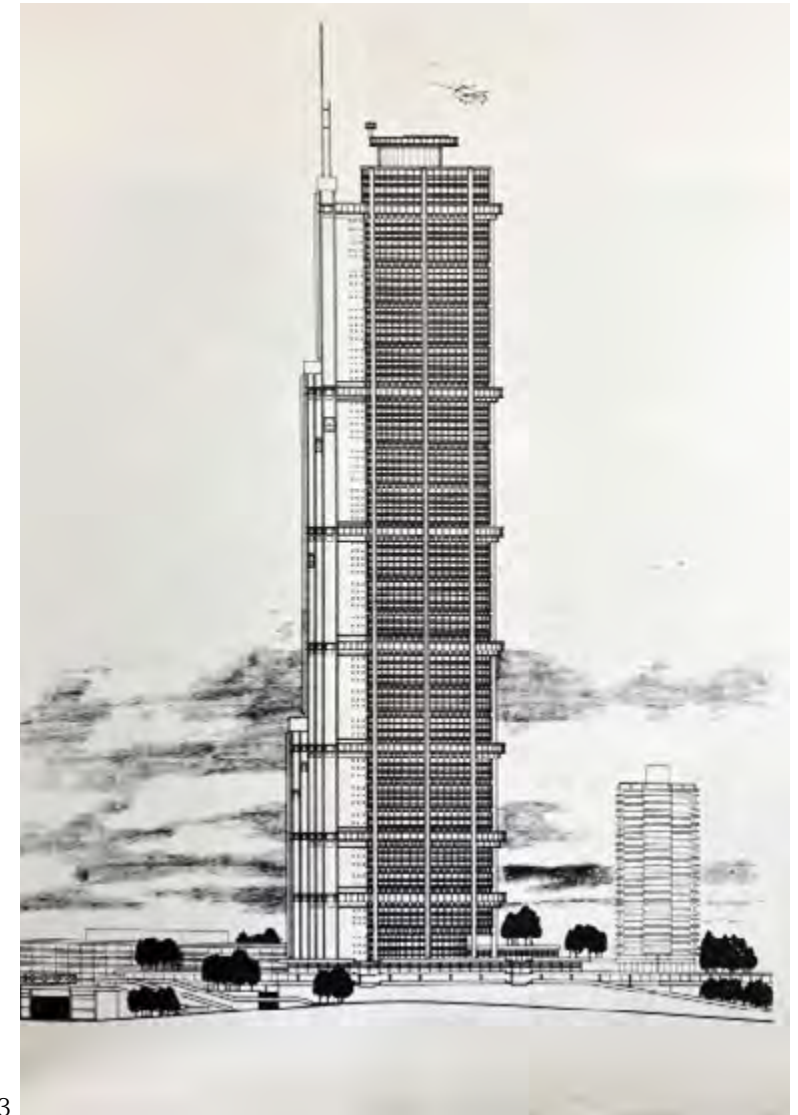
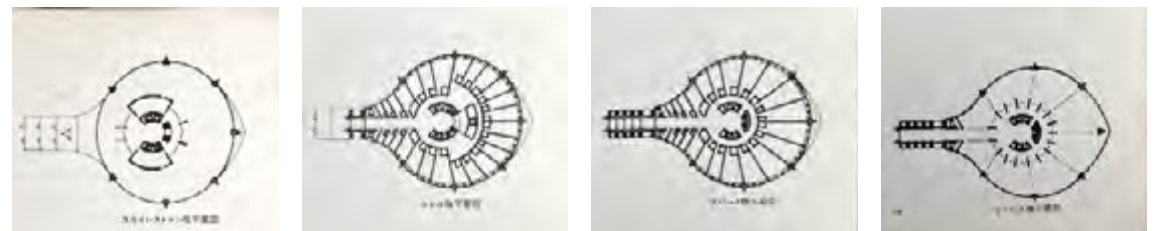


fig.3



計画過誤

計画において全ての人々が前提として疑わず見過ごしてしまっていることに計画過誤がある。

都市計画や建築ではミスがあるが表面化していない

→設計ミスは人間の適応能力によってカバーされている。

< Archinetics (アーキナテックス) >という概念を作り、進展させる。

市民の自衛

<都市生活>

要素として、生活、機能、空間を取り出し、要素間の関係から考える。



市民が共同して環境について、共通の主張を貫き、要求を拡大していく、闘争である。

■参考

fig.1：都市のデザインの方法論『構想と計画』菊竹清訓著 美術出版社 1978 P133

fig.2：ネットワーク図 『構想と計画』菊竹清訓著 美術出版社 1978 P144

fig.3：ペアシティ計画 1965 『構想と計画』菊竹清訓著 美術出版社 1978 P151

2 自由な市民生活のための都市—景観規制

早稲田大学修士1年 西那巳子

■キーワードとなる言説

現代都市と法規制

変革する市民意識

景観は市民のもの

犯される市民の自由

現代都市の条件

市民あっての都市

『景観をつくりだす市民なしでは、都市はあり得ない。』 p90

都市と人類の進歩

『都市を一つの装備として考え、取り替えることのできる、変化・成長・更新できる都市にすることで進歩してきたということである。はたして市民社会は、都市を代謝建築として進歩してきたであろうか。』 p93

都市と代謝構造

市民が自由の先決

絶対量への挑戦

新しい市民社会

『現代都市は、土地にまで、代謝を要求することになると思われるからである。』 p97

■ 〈東京海上火災ビル〉 1974 前川國男

敷地：東京丸の内 皇居のすぐ近く

1966年 東京都へ確認申請書 30階建て高さ128m → 1967年 東京都は建築申請を却下
→景観論争へ

1970年 着工

1974年 竣工

2023年 解体予定



fig.1 〈東京海上火災ビル〉 1974

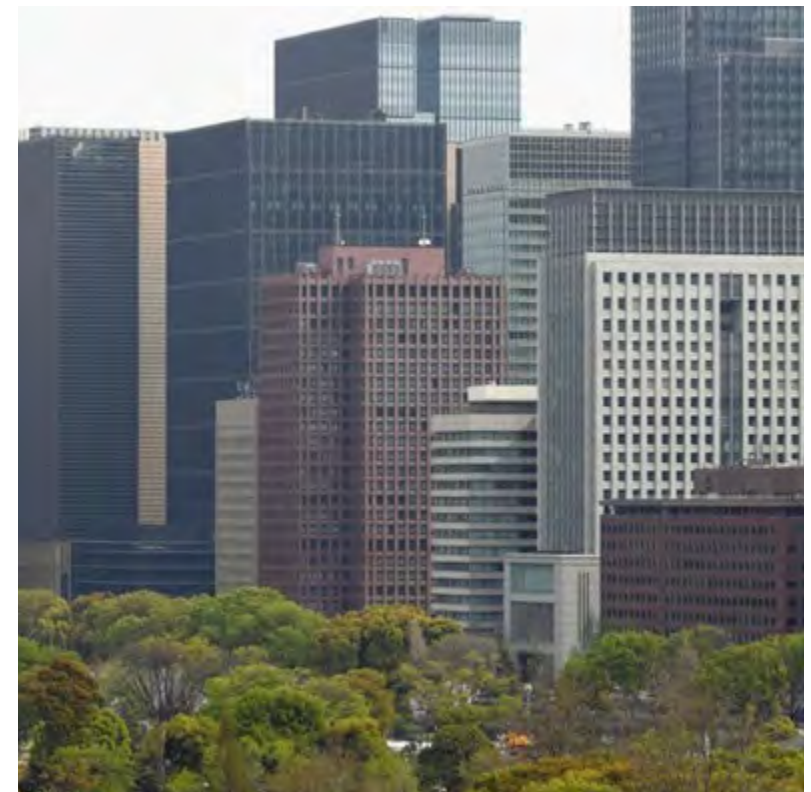


fig.1 〈東京海上火災ビル〉 1974

■百尺規制 ＊ 1

1919年 市街地建築物法（建築基準法の前身）制定
絶対高さ制限、住居地域 65 尺（後に 20 m）、住居地域以外 100 尺（後に 31 m）

1964年 建築基準法改正 百尺規制の撤廃

1970年 建築基準法改正 容積制が全面導

1974年 東京海上火災ビル竣工

■サンマルコ広場



fig.2 サンマルコ広場

■ 〈ペアシティ計画〉 1965



fig.3 〈ペアシティ計画〉 1965

■出典

* 1 https://www.dai3.co.jp/_old_hp/rbayakyu/20th/times/news202.htm

fig.1 東京海上火災 https://www.tokyo-np.co.jp/article_photo/list?article_id=95654&pid=303245

fig.2 サンマルコ広場 <https://www.travel.co.jp/guide/article/15377/>

fig.3 ペアシティ計画 日経 BP 2009.1.26 インサイドアウト NIKKEI ARCHTECTURE

3 新宿副都心計画のしめすもの—公共骨格

早稲田大学修士2年 輪嶋 優一

新宿副都心計画 . . .

- ・ 1960 年
- ・ 多核型都市構造への転換に向け業務機能の集積
- ・ 自動車交通への対応に重点を置いた基盤整備
(立体交差道路や歩者分離、大規模駐車場など)

「アーバン・ダイナミクスから見た新宿副都心の問題をどう捉えるか」

ジェイ・フォレスター著



出典: Amazon/https://images-na.ssl-images-amazon.com/images/I/41jX20JU4L_SX363_BO1,204,203,200_.jpg

〈アーバン・ダイナミクス〉

…都市の発展と衰退のモデルを表す

新宿再開発の意味

p102-108



新宿再開発の意味

計画者の立場

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 計画の解説的理解 | 内容、経過、要旨、体制を知る |
| 2 計画の評価 | 価値体系に従って計画をみる |
| 3 計画の問題点 | 問題の指摘 |
| 4 計画の比較 | 計画の特性を明らかにする |
| 5 計画の提案 | 提案によって問題を明らかにする |

新宿再開発の意味

人間、市民の立場

1 再開発の立地

なぜ、新宿か

2 再開発の意味

何の再開発なのか

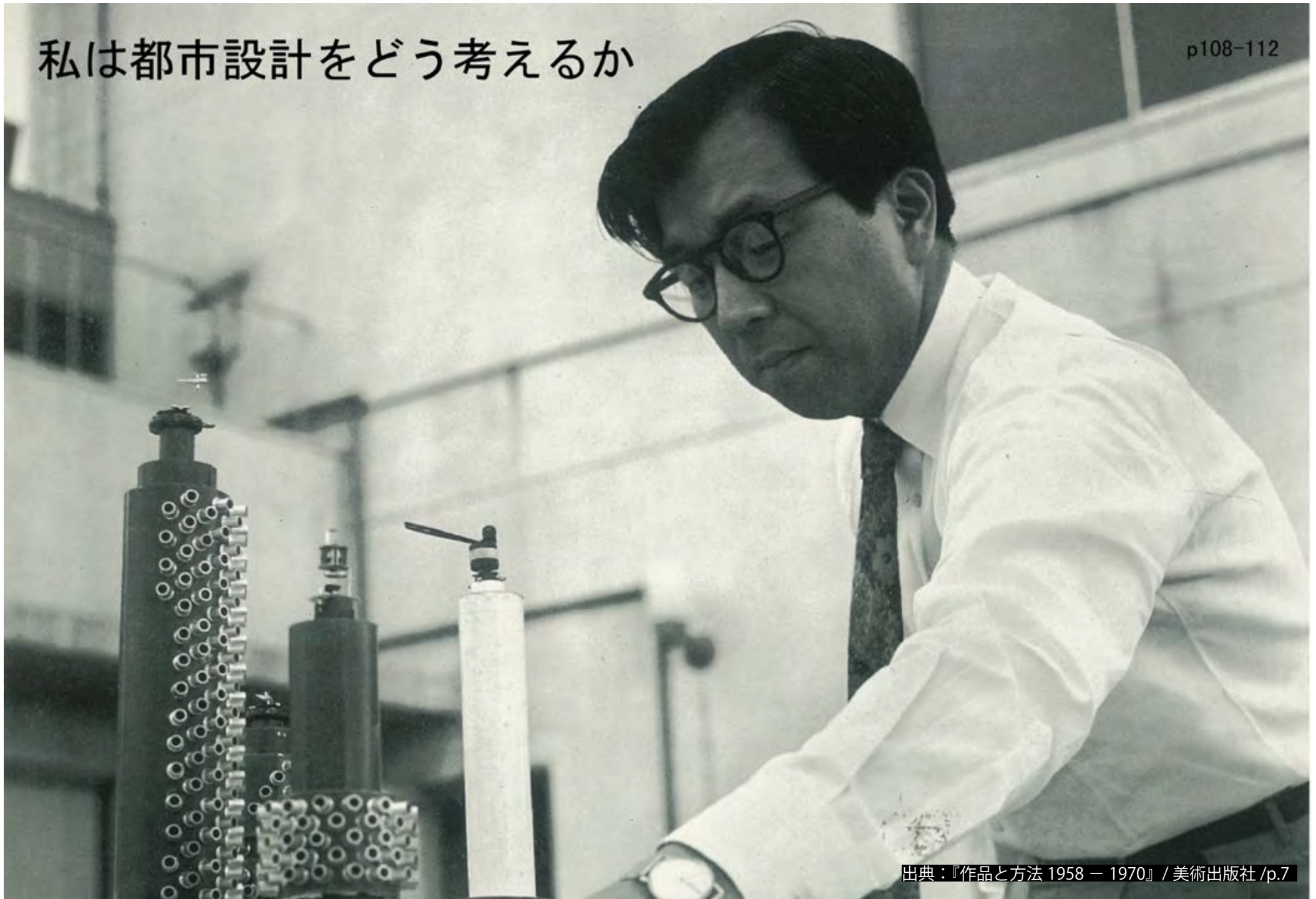
3 再開発の恩恵

何をもたらしてくれるのか

本来は、「計画の立場の究極的なものが、人間の立場であるべき。」

私は都市設計をどう考えるか

p108-112



私は都市設計をどう考えるか

p108-112



再開発主義—都市空間の代謝—メタボリズム

私は都市設計をどう考えるか

p108-112

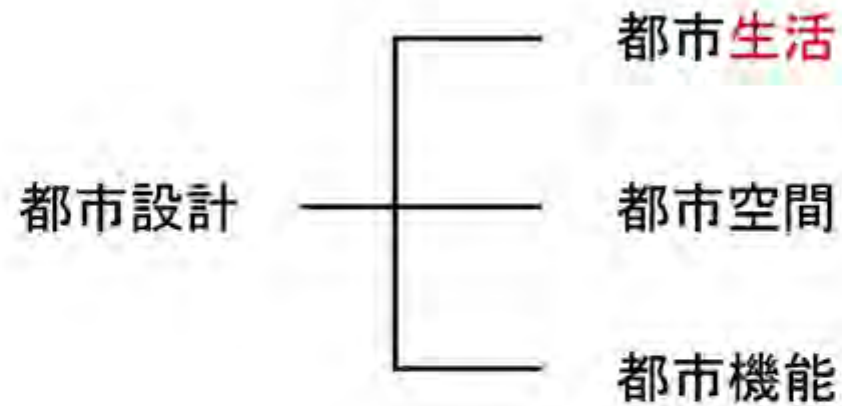
チャンネル開発・・・いかに新しいチャンネルをつけ加えるか

消極的な立場 … 欠けているチャンネルを補う

積極的な立場 … 新しいチャンネルを自己生成する

私は都市設計をどう考えるか

p108-112



都市設計は都市計画の上位概念として位置づける

新宿は東京を革新できるか

p117-125



出典：新宿歴史博物館 /<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/wp-content/uploads/2016/12/d448100b5206bd6732ffff067f80819a.jpg>

新宿は東京を革新できるか

p117-125



出典：日本の古本屋 /https://www.kosho.or.jp/upload/save_image/51000030/20201222204403757623_d993c9bb58716b7a33af93d25e3a1f63.jpg

東京都心の4つのセンター

- ・ 繁華街センター
(銀座、新宿、池袋、渋谷、赤坂、六本木)
- ・ ビジネスセンター
(丸の内、大手町)
- ・ 情報センター
(新聞、放送、出版、大学)
- ・ 政治センター
(永田町、霞が関)



「住居の機能」を加えた5つを東京の機能としたい

新宿は東京を革新できるか

p117-125

「新宿が新しく東京をつくり出すのだ、東京が生まれかわるのだという意味での新しい新宿というものとしてイメージされなければ意味がない。」

新宿は東京を革新できるか

p117-125



出典：シマダアセットパートナーズ株式会社 / <https://shimada-sap.co.jp/wp-content/uploads/2018/05/unnamed-file-2-1024x546.jpg>

2021 年現在、新宿は東京を革新できたのか？

新宿は東京を革新できるか

p117-125

NISHI-SHINJUKU
SMARTCITY
PROJECT

西新宿スマートシティ協議会

- HOME
- NEWS
- ABOUT US
- AREA
- VOICE
- PROJECT
- PoC
- ORGANIZATION
- SNS
- CONTACT

LINE
公式アカウントは
こちら
▼

VOICE
コミュニティの声は
こちら
▼

つながる街 西新宿
NISHI-SHINJUKU SMARTCITY PROJECT

NEWS
お知らせ [一覧を見る](#)

2021.05.14 令和3年度第1回西新宿スマートシティ協議会の開催

Cookie Policy

公共投資は建築物で行われる必要がある—公共骨格

p125-129



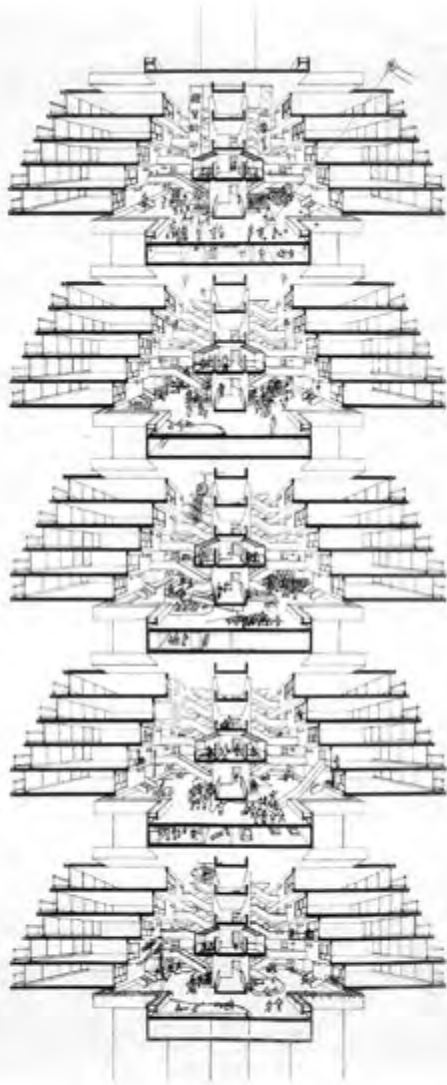
公共投資は建築物で行われる必要がある—公共骨格

p125-129

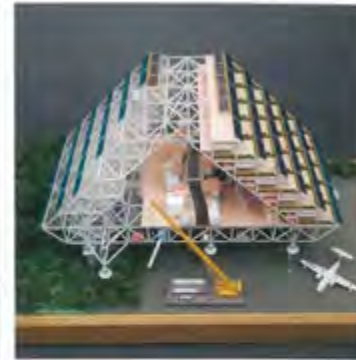
空間的・立体的都市計画にしなければならないといわれているが、施設計画は公園、道路、パーキングというもので一体どこが立体なのか？

公共投資は建築物で行われる必要がある—公共骨格

p125-129



樹状住居 (1968)



層構造モジュール
(1972)



コラージュエコポリス

公共投資は建築物で行われる必要がある—公共骨格

p125-129



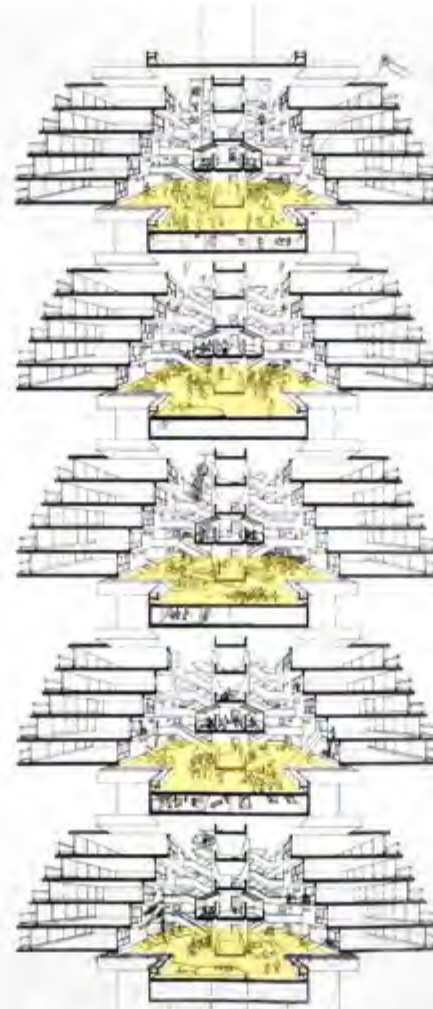
出典：カワニシノリユキ on Twitter / https://pbs.twimg.com/media/C8p_IrbUQAA1zA.jpg

坂出人工土地（1968-1986）／大高正人など

おわりに

p130-140

樹上住居 (1968)



出典：『メタボリズムの未来都市』/ 株式会社新建築社 / p.131

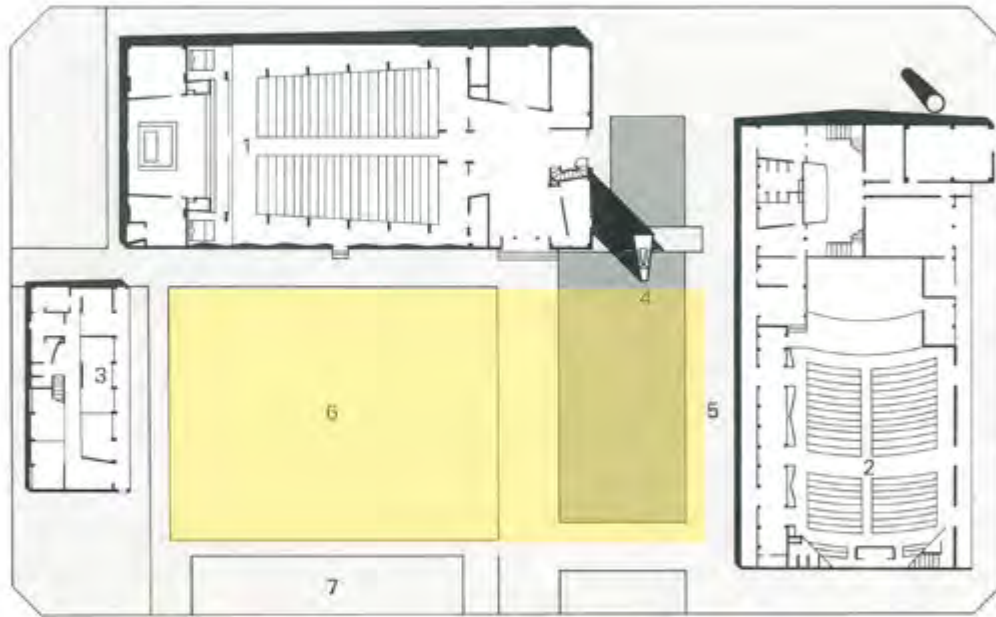
パブリックストラクチャーをどうやってつくっていくかが中心のテーマ

おわりに

「われわれがみんなで、みんなに必要な場所や空間や骨格をつくっていかなければいけない。そして土地を持っている人たちが、それをつくらなければ、それをつくらせるような運動をおこしていくということです。そうしてつくっていくのが、それが**市民の広場**であり**パブリックスペース**であり、**公共骨格**だというふうを考えるべきであります。」

おわりに

p130-140



出典：『菊竹清訓作品集2「型」の概念』/ 求竜堂 / p.38-39

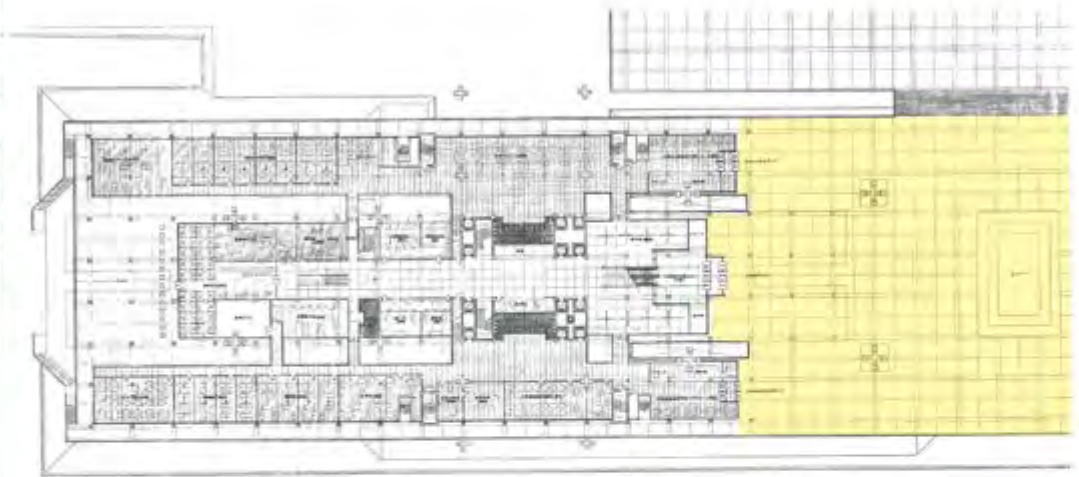
広島平和記念カトリック聖堂 コンペ案 (1948)

おわりに

p130-140



出典：『菊竹清訓作品集 2「型」の概念』/ 求竜堂 / p.28-29



出典：『菊竹清訓作品集 2「型」の概念』/ 求竜堂 / p.36

国立京都国際会議場 コンペ案 (1963)

おわりに

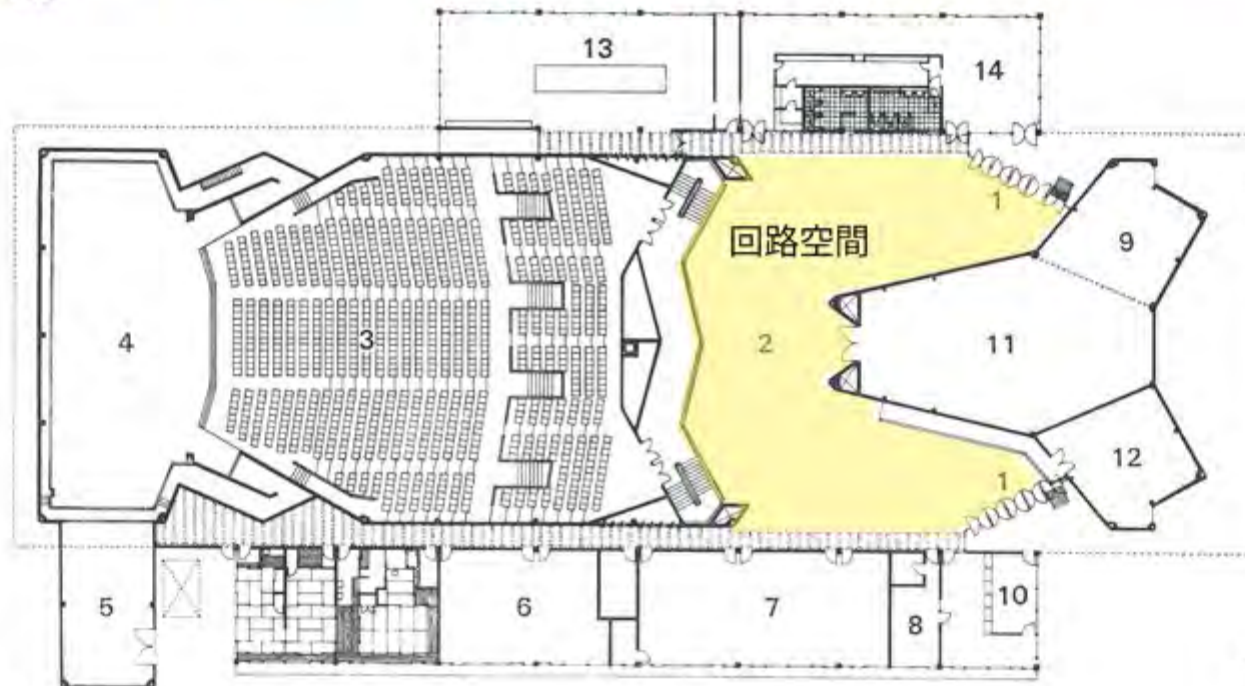
p130-140



撮影：韓崎優一



b

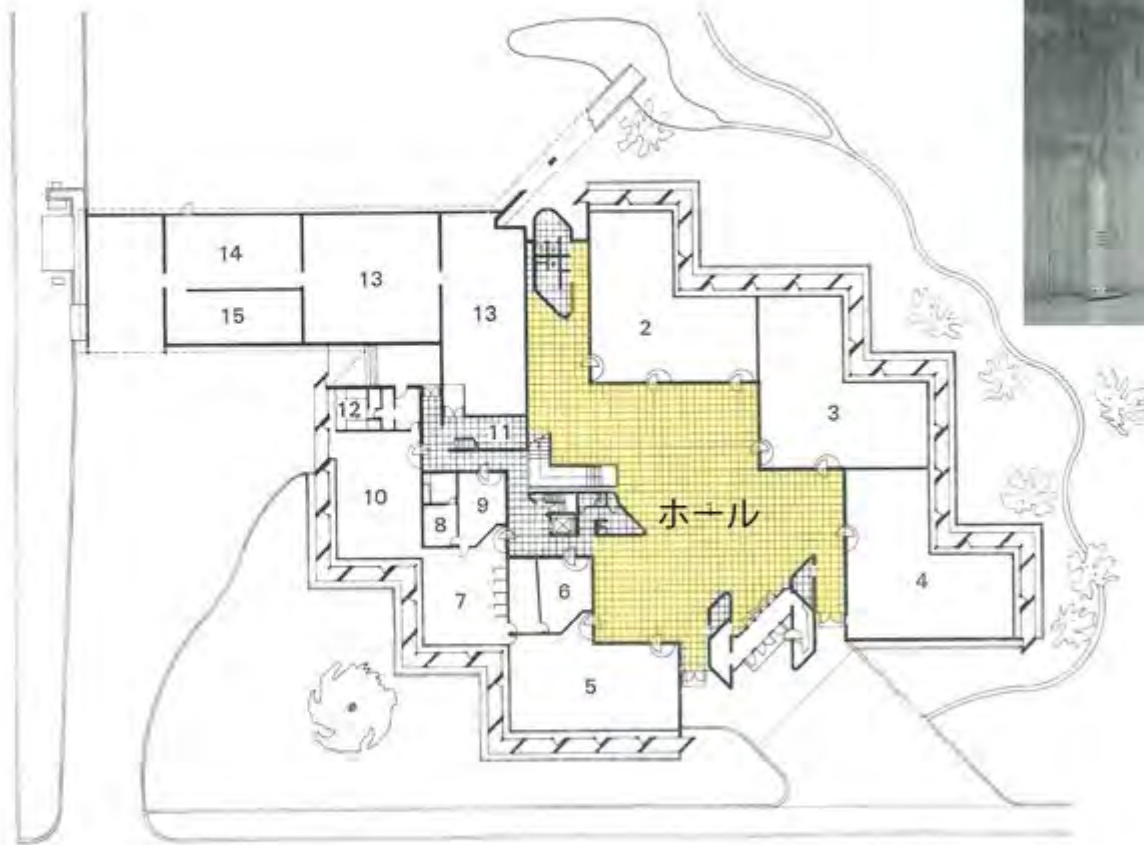


a

萩市民館 (1968)

おわりに

p130-140



出典：『作品と方法 1958-1970』 / 美術出版社 / p.200

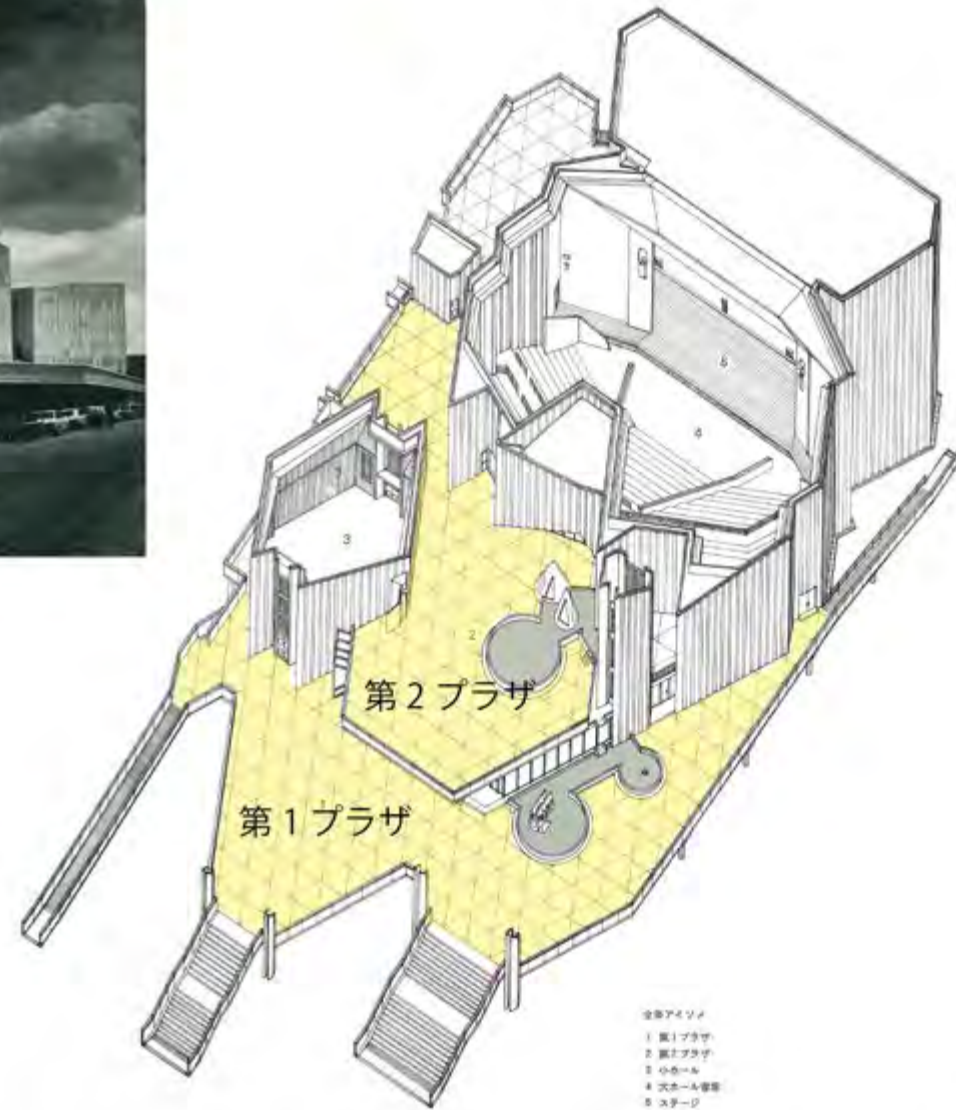


出典：『建築 1969 1』 / 中外出版 / p.91

島根県立図書館 (1968)

おわりに

p130-140



プラザ (plaza)
…スペイン語で、都市にある公共の広場

久留米市民会館 (1969)

おわりに

p130-140



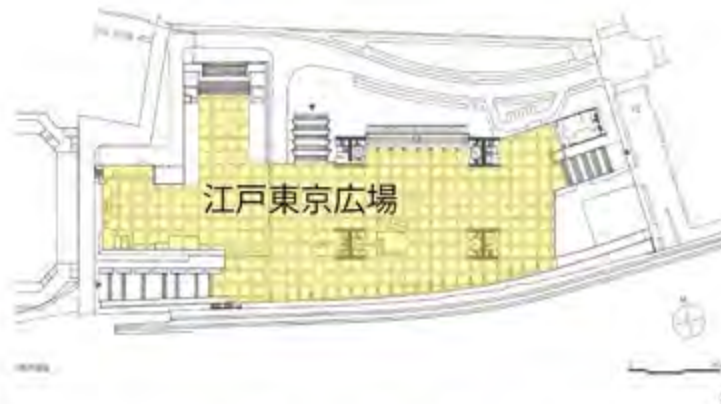
a



撮影：輪嶋優一



b



c

出典：『栗竹清副作品集1「型」の展開』/ 求職堂 / a-p.37,b-p.40,c-p.34

江戸東京博物館（1992）

おわりに

p130-140

現代の都市環境に必要とされているもの

「超建築」

公共と民間とが非常に密接に組合されなければ生まれない建築物